

ネギ栽培がうまくいかない要因の全て ～ネギ減収の3要因～

こんにちは！ネギ参謀です。

今回は、皆様の収量に直結する内容のお話となります。

この考え方を知っているだけで、

◎ネギの収量をどのように上げるか

◎ネギに起こる被害をどのように対策すれば良いのか

とても考えやすくなります。

また、病害虫対策の話や収量アップの話など、今後の学びが分かりやすくなるはずです。

ネギ以外にも活用できる、とても有意義な考え方だと思いますので、ぜひご一読くださいませ！

目次

1. 「ネギ減収の3要因」とは
 2. 減収を最小限にする「3要因の対策」について
 3. 活用方法
-

1. 「ネギ減収の3要因」とは

ネギがやられてしまう、収量が減ってしまう3つの要因のことです。つまり、減収してしまう要因の全てがこの3つとなります。

ちなみに、「要因」＝「原因」と考えてもOKです。

①主因 ネギが減収する直接的な要因（被害・現象）のこと

（例）病気・害虫・雑草・薬害・生理障害（根腐れ等の生理的な被害も含む）など

②誘因 主因を引き起こす環境の要因のこと

（主因を引き起こすきっかけ）

主に天候・気候・土壌・通気性など

③素因 主因を助長している ネギの健康状態・特性のこと（＝ネギの弱体化など。ネギのせい、ということ。）

（例）養分の過不足・光合成低下・酸欠・ダメージ・品種間差

例えば、軟腐病を例に出しますと、「軟腐病自体」が「①主因」、軟腐病を誘発した「天候や土壌環境」